

夏海湖の四季

～大洗研究所だより～

第100号
令和4年6月発行

発行 国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
大洗研究所
☎ 029-267-2494



大洗研究所長挨拶

いつも「夏海湖の四季」をご愛読頂きまして誠に有難うございます。本紙は平成8年12月の発行以来、今回で100号を迎えることができました。これも皆様方の暖かいご支援の賜ものと心から感謝しております。

さて、本紙は広報紙と言われているものですが、その目的や役割を改めて考えてみました。一般的に広報紙は官庁・自治体・団体・企業などが、不特定多数の人々に向けて各機関の活動を宣伝するためのものと言われています。しかし、本紙のような特定の地域社会を対象として発行される広報紙の場合は、単なる自己宣伝や伝達手段ではなく、関係する人々が交流を図るためのひとつの要素としても活躍してくれる気がします。

ある国では厳しい情報統制やフェイクニュースにより真実とは異なる情報を拡散することで国民の世論操作が行われていることが指摘されています。インターネットやメディアを通じて様々な情報を簡単に入手できる便利な世の中ですが、一方で情報を受け取った側の印象や判断結果に大きな影響を与えることも再認識させられました。

私たちから発信する情報は、まずは信頼性・正確性が求められます。その上で皆さんから「読みたい」と思ってもらえるような魅力的な誌面にしなければなりません。私たちの作る広報紙が大洗研究所を支えて下さる皆様方に親しまれ、また交流のための情報源になれるよう努力して参りますので、これからもご愛読下さいますよう宜しくお願い申し上げます。



所長
根岸 仁

大洗研究所施設公開をオンライン形式で開催しました

大洗研究所において3月26日にオンラインでの施設公開を実施しました。本施設公開は2019年以前、実地で行っていた見学会を、コロナが続く状況に合わせてオンライン化したものとなります。

今回公開した施設は、原子炉施設であるHTTR（高温工学試験研究炉）と高速実験炉「常陽」の2施設であり、ライブでの生中継にもかかわらず160名近い方に御視聴いただくことができました。

→当日は曇天でしたが、雨が降ることなく無事に終了することができました。



→司会は、いつも出番が来てもいいようにスタンバイしていました。



オンラインでの施設公開は大洗研究所として初の取組であり、改善点などの課題も多くありましたが、今後も時代に合わせた手法を積極的に取り入れ、原子力エネルギーや当研究所の研究について御理解していただけるよう広報活動に取り組んでまいります。

令和4年度新入職員歓迎式が行われました

4月4日、原子力機構において、令和4年度新入職員歓迎式を開催し、新入職員は各配属拠点からオンラインで出席しました。歓迎式では、理事長及び大島理事をはじめとする各役員からの歓迎の言葉、新入職員代表による宣誓が行われ、新たな決意のもと原子力機構でのスタートを切りました。新入職員が各部署の新しい活力となり、大洗における研究開発の進展に貢献してくれることを期待しております。



1列目左から4番目：大島理事、その他：大洗拠点配属の新入職員
※歓迎式は、新型コロナウイルス感染予防策を講じて実施しました。写真撮影時のみマスクを外しております。

原子炉施設の状況（令和4年3月～令和4年5月）



高速実験炉「常陽」

定期事業者検査中（R2.4.1～）

(1) 施設の作業状況

- ・電源設備、非常用ディーゼル発電機、原子炉制御設備、燃料取扱設備、廃棄物処理設備等の定期的な点検作業を行いました。また、令和3年度第3回の定期事業者検査（使用済燃料貯蔵プールの外観検査等）を令和4年3月10日に実施し、設備が試験研究の用に供する原子炉等の技術基準に関する規則に適合していることを確認しました。
- ・高経年化対策として実施していた主排気筒の塗装及びタラップ等の更新作業を完了しました。

(2) その他

- ・平成29年3月30日に行った「常陽」の新規制基準に係る適合性の審査の申請について、妥当性の審査が継続されています。令和4年3月～5月には、合計6回の審査会合が開催されました。「多量の放射性物質等を放出するおそれのある事故（過酷な条件を想定した事故）」の拡大を防止するために用いる資機材・手順等の他に、冷却材であるナトリウムの漏洩防止や検知・消火等に係る措置、照射試験に用いる試験用の燃料や実験装置等について、審査が行われました。引き続き、審査対応を着実に進めていきます。



原子炉停止中（R4.1.29～）

(1) 施設の運転・作業状況

- ・令和4年1月の運転時に、1次ヘリウム循環機のフィルタの差圧が上昇傾向にあることを確認しました。このため、令和4年3月に予定していた原子炉出力100%における試験（炉心冷却喪失試験）の実施を延期し、フィルタの交換作業等を優先して実施することとしました。次回の運転時期については、スケジュールを調整中のため未定です。
- ・計測制御系統施設、圧縮空気設備、燃料交換機、補機・一般冷却水設備等の定期的な点検を実施しました。

(2) その他

- ・令和3年11月15日に、地震動に係るバックフィット対応の為、原子炉設置変更許可申請を行いました。令和4年5月に審査会合が開催され、地震動についての審査が行われました。
- ・令和3年12月16日に、核燃料物質の使用目的の1つを削除する為、核燃料物質使用変更許可申請し、令和4年4月18日に補正を行いました。

夏海湖の四季は創刊100号目となりました。

季刊発行しておりますJAEA大洗研究所の広報紙「夏海湖の四季」は本号を以って100号を迎えました。本誌は平成8年にJAEA大洗の前身である日本原子力研究所 大洗研究所（原研大洗）と動力炉・核燃料開発事業団 大洗工学センター（動燃大洗）の連名で創刊し、以来25年にわたり、大洗研究所にある原子炉施設の紹介など我々JAEAの活動をお知らせしてまいりました。

これからもさらに内容を充実し、地域の皆様をはじめ、広報紙を読んでいただいている皆様により根差した広報活動を続けていきます。

本号では、100号記念特集として表紙及び本ページにて創刊からの「夏海湖の四季」を振り返ってみました。

